

三角駅からはじまる 日本で唯一残る明治期の港・ 「三角西港」を巡る世界遺産ウォーク！ 全長 約7km 2020年8月現在

57 道路番号 2.7 スタートからの距離
WC 公衆トイレ



お問合せ：三角駅0964-52-2711



法の館 (旧三角簡易裁判所)
明治23年に開庁。当初は三角西港の中町に設置されていましたが、大正9年に現在地へ移築新築され、平成4年まで現役の簡易裁判所として使用されていました。平成19年に国登録有形文化財に指定。



九州海技学院 (宇土郡役所跡)
明治35年宇土郡役所として建設。現在お海抜学院 (船員の養成) として使われています。



公文式がある通りに
でたら左折し、緩やかな
カーブを道なりに進みます。
※三角小学校下バス停
が目印!



三角西港 (世界遺産)
洋風・和風の建物が建ち並び、
明治期の古を感じることが
出来ます。



天草一号橋
九州と天草諸島を結ぶ天草五橋の最初の橋一号橋は、五橋中最長の長さ 502m。海面からの高さも五橋中最も高い。パースライドライブ最初の絶景ポイント!

- 必ず準備運動を行いましょう。
- 自分のペースで歩きましょう。
- ウォーキング中の負傷等については責任を負いかねます。ご了承ください。
- 休業日や営業時間など、施設により変更の可能性があるので必ず最新情報をご確認ください。

サンサンうきっ子みすみ
旬の農産物・海産物・加工品・
弁当・花きなど豊富な商品を取
り揃えています。



オレンジ色の踏線橋を渡り
降りたら直進します。



至宇土方面



三角駅

祝！三角西港世界遺産登録！ 三角の名所をご案内します。

※店舗の営業時間などは変更になる場合がございますので事前にご確認ください。
※各場所の位置は表面に番号で案内しておりますのでご確認ください。



ようこそ！三角駅へ



あまくさ三角線の終着駅である三角駅は、三角港の接続する路線として三角線が建設されたのに伴い、1899年（明治32年）に建設された県内有数の歴史のある駅です。2011年10月の「A列車で行こう！」の運行開始に伴い、JR九州の800系つばめやSL人吉など多くのデザインを手がけられた水戸岡鋭治氏の手によって新しく生まれ変わりました！A列車同様、駅の中は南蛮文化をイメージさせる内装になっています。旅の思い出に趣ある駅舎と記念撮影してみませんか？

2015年7月世界文化遺産登録決定！

明治日本の産業革命を支えた「三角西港」。駅長おすすめ散策コース



① 浦島屋



文豪小泉八雲が立ち寄った当時の旅館を写真を元に復元されたもので、「夏の日の夢」という紀行文に当時の様子が紹介されています。

② 龍職館（りゅうじょうかん）



大正7年、明治天皇御即位50年記念事業として宇土郡教育会が建設。現在は歴史ガイダンス室になっています

③ 旧三角海運倉庫



明治20年に建てられ、荷揚げ倉庫として使われていた土蔵作りの建物

④ 旧高田回漕店



明治20年代に建てられた荷物・乗客を扱う回船問屋で、当時の面影を残しています。平成10年に修復されました。

⑤ 旧三角簡易裁判所本館



明治23年に開庁。平成4年まで裁判所として利用された。現在は「法の館」として一般に公開され、法に関する資料を展示しています。

⑥ 旧宇土郡役所庁舎



明治35年宇土郡役所として建設され、現在は海抜学院（船員の養成）として利用されています。